

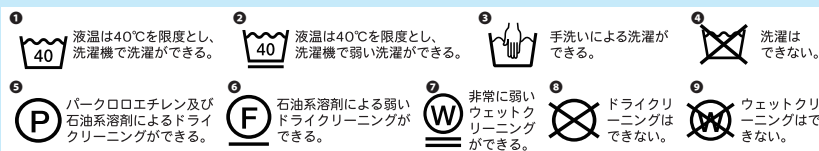
冬物衣料を 自宅で洗う

ニットやアウターなどの冬物衣類は、つついクリーニングに出してしまいがちですが、正しい手順で洗えば、多くが自宅の洗濯機で洗うことができます。基本のニットからスタートして、ダウン、コートと冬物洗いにチャレンジしてみましょう。

●自宅で洗えるものは？

衣類の洗濯表示で、右図の①②③は洗濯OK！

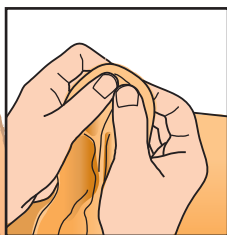
「洗濯できない」のマークがついていても、色落ちするもの、ウールジョーゼットやレーヨン、革をあしらった衣類を除けば、多くが自宅で洗うことができます。また右図の④⑤⑥はクリーニングができるという意味で「水洗い不可」を指すわけではありません。



ニットを洗う

① 下準備をする

汚れやシミによく洗剤がしみ込むように、洗う前に乾いた状態で汚れを両手の親指と人指し指ではさみ、繊維を傷めないように優しくもみます。

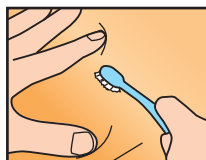


汚れやシミがひどい時は…

中性洗剤の原液を直接つけます。スプーンの背で軽く押さえて洗剤を浸透させ、1～2分おいたら軽く水を含ませた洗濯ブラシでブラッシングします。デリケートな素材は、水で濡らした化粧用コットンでパッティングを。

毛玉とりは古歯ブラシで

毛玉が目立つ時は、古歯ブラシを毛の長さが3分の1くらいになるようにハサミでカットし方向に動かします。毛玉が歯ブラシの切り口にひっかかりラクにとれます。必ず乾いた状態で行ってください。



② ネットに入れる

洗濯中にネットの中でニットが動かないよう、ネットの大きさに合わせてたたむのがポイントです。ネットは目の細かいものを内側に、粗いものを外側に重ね、2枚使いにするとすれを予防できます。

③ 洗濯機のドライコースで洗う

『ドライコース（または弱水流コース）』を選択し、中性洗剤を使って洗います。柔軟剤とのり剤で風合いよく仕上げましょう。

ニット洗いの3つのポイント

1 30℃以下のきれいな水を使う

お湯を使うと縮んでしまいます。必ず30℃以下の水を使ってください。お風呂の残り湯は温度が高めな上にやや汚れているので、おしやれ着洗いは避けてください。

2 中性洗剤を使う

ウールをはじめシルクなどの動物性繊維はアルカリに弱く、傷みの原因になるので、必ずおしやれ着用の中性洗剤で洗ってください。

3 仕上げは柔軟剤＋のり剤で

柔軟剤は表示通りの量、のり剤はそれよりやや少なめを投入口にいれましょう。柔軟剤でふんわりとさせ、のり剤でハリとツヤをキープします。

●ニットの手洗い方法●

単独で洗う時や、洗濯機洗いが不安なものは手洗いで。濡れたニットは傷みやすいので、丁寧に扱ってください。

- ① 洗いおけに30℃以下の水を入れ、中性洗剤を表示通りの分量溶かし、たたんだニットを10～15分つけ、洗濯機で10秒間脱水します。
- ② 洗いおけにきれいな水をため、ニット全体をくぐらせてすすぎます。その後、洗濯機で10秒間脱水します。
- ③ 再び洗いおけの水を替えて、柔軟剤とのり剤（配合は洗濯機洗いと同一）を溶かし、ニットを3分間つけおきます。すすぎは不要で、再度洗濯機で10秒間脱水します。

④ 振りさばく

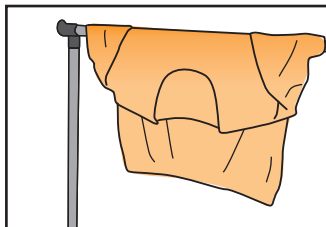
洗濯機から取り出したニットの肩口を持ち、その反対の手でニットを動かすのがコツです。逆側も同様に振りさばきます。脱水ジワが取れ、アイロンがけの時間を短縮。



衣類はデリケートです。傷みの原因となりますので、正しい手順で洗濯し、丁寧にお取り扱いください。

⑤ 陰干しする

ウールやシルクの動物性繊維は、直射日光に当たるとダメージが。平らな台にニットを広げ、通気性の良い場所に干してください。一度にたくさん干す場合はサオなどにかけても。身ごろを二つ折にし、袖を渡してかけると伸びを防止。



⑥ アイロンをかける

ニットが乾いたら、スチームアイロンを浮かしがけにして繊維に蒸気を当て、さらにドライアイロンを10秒当てて水分をとばし、さっとあおるとふんわりとした風合いに。繊維に水分が残るとシワになりやすいため、「スチーム→ドライ→あおる」をブロック別に行っていくのがきれいに仕上げるコツです。

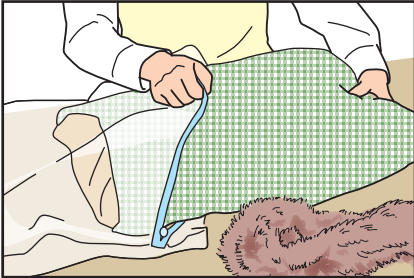
⑦ たたむ

ニットは丸めるとシワになりにくく、省スペースでしめることができます。

ダウンアウターを洗う

衣類はデリケートです。傷みの原因となりますので、正しい手順で洗濯し、丁寧にお取り扱いください。

① バスタオルにくるみネットに入れる
洗濯槽の中でダウンが浮き上がらないように、バスタオルでくるみ重しにします。ファーがあれば外し、ファスナーやボタンをとめてからたたみ、バスタオルでくるんで大きめサイズのネットに入れます。ファーはフェイクなら洗濯可能。リアルファーでも、革がついていなければ洗濯できます。別のネットに単独で入れてください。



② 洗濯機のドライコースで洗う

中性洗剤を使い、ドライコースで洗います。仕上げには柔軟剤を。ネットごと洗濯槽に入れて手で押し込み、洗剤液によくつけます。取り外したファーを入れたネットも洗濯槽へ。※中の羽毛が固まってしまうので、のり剤は絶対に入れないでください。

③ 陰干しする

静かに広げてハンガーにかけ、風通しの良い場所で陰干しにします。この時、外からバンバンたたいてはいけません。中の羽毛が切れてべちゃんこになります。丸1日くらいかけてじっくり乾かすようにしましょう。

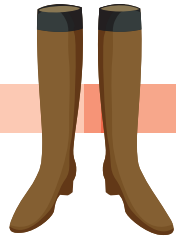
④ 乾いたら全体をよく振る

手で触れてみて中まで乾いたことを確認したら、ダウンを手を持ち羽毛によく空気が通るよう、身ごろ、袖とまんべんなく振りさばきます。ふんわりとした風合いが戻ってきます。



⑤ 不織布のカバーが通気口をあけたビニール袋へ入れてしまう

ハンガーとホコリよけのカバーをかけてクローゼットへ。通気性の良い不織布のカバーならカビ予防に効果的です。ビニールをかける場合は、針などで空気穴を数カ所あけ、通気をよくしてください。



ウールコートを洗う

① ボタンなどを閉めてネットに入れる

② 洗濯機のドライコースで洗う

中性洗剤を使い、洗濯機のドライコースで洗います。仕上げ用には、柔軟剤に加えてのり剤を投入口にセットします。

③ 振りさばいて陰干しする

脱水後、全体をよく振りさばき脱水ジワを取ります。厚みのあるハンガーにかけ、通気性の良い場所で陰干しします。

④ スチームアイロンを浮かしがけする

完全に乾いたらアイロン台を使ってスチームアイロンを浮かしがけします。身ごろや袖、襟などをかけ、肩部分は最後に。2回程折って厚みを出したフェイスタオルを片手に持って、コートの下から支えるようにして肩の部分に当て、反対の手でアイロンを持ちスチームを当てると形がきれいに整います。



⑤ ハンガーにかけクローゼットへ

型くずれしないように、厚みのあるハンガーにかけてクローゼットへ。不織布のカバーか、空気穴をあけたビニールカバーをかけます。

革のブーツを洗う

① 外せる装飾品はとっておく

靴ひもがついている場合は外し、普通の洗濯洗剤で洗います。革ひもの場合は②の洗剤液で単独洗いを。

② 濡らしたスポンジに洗剤液を含ませて磨く
中性洗剤とベビーオイルを1:1の割合でよく混ぜ合わせた洗剤液を作り、水を含ませたスポンジにつけてブーツを磨くように洗います。洗剤液は少しずつスポンジにつけ、泡立てながら全体に広げると汚れを効果的に落とすことができます。汗や皮脂のついたブーツの内側も、スポンジを奥までしっかりと入れて洗って、ムレやおいをすっきりさせましょう。

※オイルは無香料でピュアなベビーオイルの他、オリーブオイルでも可。その他の食用油は避けてください。

③ シャワーで洗い流す

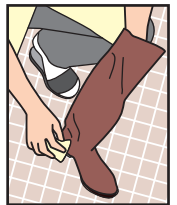
お湯は変色の原因になるので、必ず水で洗い流してください。シャワーの水で洗剤液を洗い流した後、乾いたタオルで水気を拭き取ります。内側もよくすすぎましょう。

④ ベビーオイルを塗る

ブーツが乾く前に、布やカット綿にベビーオイルをつけて全体に塗ります。2、3回繰り返すと表面にツヤが出てきます。

⑤ よく乾かす

風通しの良い場所で陰干しします。新聞紙を丸めたものをいくつか用意し、インクの色移りを防ぐため、古いストッキングに詰めてブーツキーパー代わりに。型崩れを防止します。



※掲載商品は予告なく変更する場合がございます。[禁複製]



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



**アヤカ
ポイントも
貯まる!**

Point
ポイント
カード
機能

クーポン

最新チラシ

店舗検索

アヤハディオ
ネットショッピング

アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

